

# 大平台

米沢小学校だより 第4号

## 春まっさかり

### つばめとメダカ

新型コロナウイルス感染症が一向に収まらず、テレビでは連日暗いニュースが続いています。私の心配ごとは、5月7日から学校が再開できるかどうかです。今は、再開を信じて、教職員一丸となり準備を進めています。

さて、子どもたちの声が聞こえない寂しい学校ですが、確実に春は深くなっています。

その一つが、学校に毎年やってくる『つばめ』です。今年も、職員室前に巣をつくり、子育てが始まりました。上から落ちてくるフンの処理を主にしている用務員の石橋さんにとっては大変だと思いますが、ヒナが育つ様子を見るのは楽しみです。新しい命と成長を見守れることは喜びでもあります。

もう一つ春を感じさせるのは『メダカ』です。

去年、低学年の子どもたちと一緒に大貫の水路にザリガニつりに行ってきました。その際、指導してもらった山口さんにメダカとドジョウをいただきました。学校に帰ってきてから、そのメダカとドジョウを子どもたちと一緒に校庭のビオトープに放流しました。夏の間は水がなくならないように小山先生が管理してくださいました。

その結果、ビオトープをよく観察してみると・・・いました、いました！

たくさんのメダカがいます。群れをつくって元気に泳いでいます。まるでめだかの学校のように。ビオトープ内では、子どもたちよりもいち早く学校が始まっているようです。オタマジャクシもたくさんいてなんだか楽しそうです。

学校が始まったら子どもたちと一緒に観察したいと思います。



クロメダカ

昨年の台風で壊れてしまった垣根も町の予算で直していただきました。

本日、「学校再開にあたっての新型コロナウイルス感染症予防対策について」を配付しました。そちらの文書もご覧ください。